

## 次代を担う学生に海技者という職業を紹介 ～ 神戸大学及び東京海洋大オープンキャンパス等への協力 ～

日本船主協会は、2008年7月に「人材確保タスクフォース」を設置し、船員教育機関と連携しつつ優秀な日本人船員（海技者）確保のための広報活動を行っているが、今般、その一環として、神戸大学海事科学部及び東京海洋大海洋工学部のオープンキャンパスに協力するとともに、神戸大学海事科学部1年生を対象とした講演会を実施した。

(東京海洋大学オープンキャンパス当協会相談ブースの様様)



### 1. 神戸大学海事科学部

#### (1) 1年生を対象とした講演会

当協会は2013年7月26日、神戸大学海事科学部の1年生を対象に、「基幹産業としての海運とそれを担う海技者について」と題し、海運業界の概要や海技者の業務等に関する講演会を開催した。

将来の進路を決めるべく、1年間かけて種々の分野・学問について概要を学び、2年次に学科選択をすると言う、今年から導入された新制度のもとで入学してきた1年生に、海運業や海技士の仕事について関心を深めてもらうべく実施したもので約200人の学生が聴講した。

講演会では、まず、田中海務部長より、世界経済と人々の暮らしを支える、同産業は各国の経済成長に伴い成長する「成長産業」であることについて、データを交えて紹介し、海技者の業務やキャリアパス及び陸上勤務についても説明した。



(神戸大学海事科学部1年生向け講義の様様)

続いて、学生と年齢の近い会社員の若手海技者(※)が、志望動機、学生時代に準備しておくべきことや就職活動、本船での業務や生活、下船後の休暇の過ごし方など自らの体験を基に紹介した。

講演会は、学生の興味が途切れることのないよう、硬軟取り混ぜた内容で進められ、学生達は時折笑顔を交えつつも、真剣な眼差しで「先輩」方の話に耳を傾けていた。

また、講演後の質疑応答では、「航海訓練所練習船における乗船実習中の自由時間の過ごし方」や「船酔いの克服法」、「入社後に必要とされる英語力」、「本船乗船中の陸上とのプライベートな通信手段」等の質問が出され、講師が具体例を交えて回答した。

(※) 2013年7月26日：神戸大学海事科学部1年生向け講演会にご協力いただいた皆さん  
 ㈱商船三井 塩崎智大 三等航海士  
 川崎汽船㈱ 吉田裕一郎 二等航海士  
 NSユナイテッド海運㈱ 田口誠 二等機関士

## (2) オープンキャンパスへの協力

2013年8月8日、神戸大学海事科学部で、高校生とその保護者を対象に、同学部を紹介するオープンキャンパスが開催され、当協会も1人でも多くの若者が海技士を目指してくれるよう、協力した。

今回のオープンキャンパスでは、学部・入試説明会や、実習船「深江丸」等の学内施設見学会が行われ、約480名が参加した。

当協会は、大学側が入試や学生生活、卒業後の進路等に関する相談を受けるべく設置した「相談コーナー」にブースを設け、神戸大学海事科学部前身の神戸商船大学OBで



ある商船三井の住吉陽平船長が現役海技者の視点から相談に応じた。

海事科学部では海技資格を得ることが可能なコースもあることから、当協会のブースを訪れた高校生や保護者からは、海運業界の将来性、海技者の業務内容やキャリアパス、待遇等について幅広い質問が寄せられ、住吉船長が親身に対応した。

(住吉船長の説明に耳を傾ける高校生)

## 2. 東京海洋大学海洋工学部

### (1) オープンキャンパスへの協力

2013年7月26日、東京海洋大学海洋工学部で、高校生とその保護者を対象に、同学部を紹介するオープンキャンパスが開催された。

今回のオープンキャンパスでは、学部・入試説明会や、同大学所有船の「やよい」の体験航海及びキャンパスツアー等の学内施設見学会が行われ、約570名が参加した。

当協会は大学側が卒業後の進路等に関する相談を受けるべく設置した「相談コーナー」のブースを初めて担当した。同ブースには高校生や保護者の約80名が訪れ、東京



海洋大学海洋工学部の前身の東京商船大学OBである日本郵船の飯田洋司船長が、船員の業務、勤務形態、海運業界の現状について説明を行った。参加者からは海運業界の将来性、海技者のキャリアパス、休暇、待遇等について幅広い質問が寄せられ飯田船長が丁寧に対応した。

(参加者の質問に答える飯田船長)

日本船主協会では、今後も船員教育機関と連携しつつ、優秀な日本人海技者確保に向けた活動を継続していく。